

秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 22 年 3 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

めだけ
女岳北東斜面では、2009年8月に新たな噴気地熱域が確認された後、12月にかけて地熱域の拡大が確認されていますが、その後も徐々に拡大していると推測されます。

ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

平成21年10月27日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

- ・地震や微動の発生状況（図2～4）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

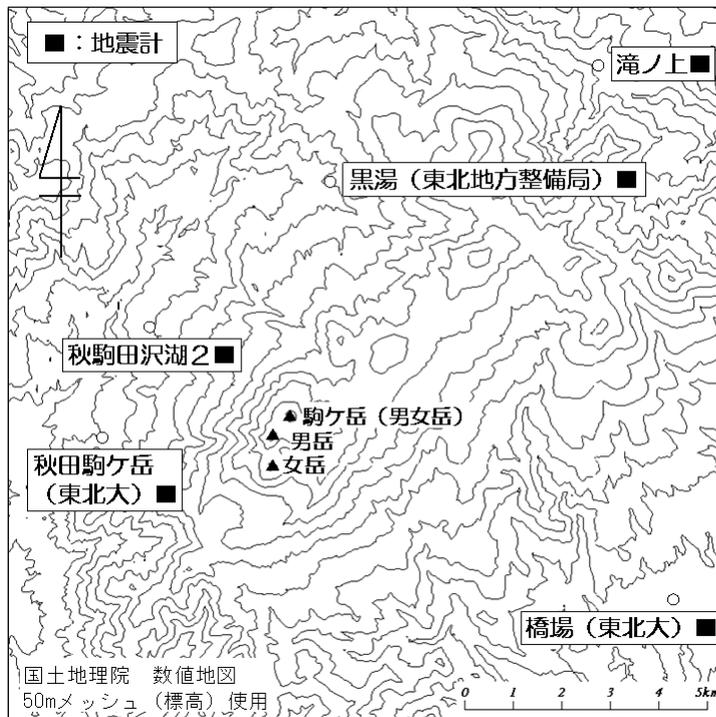


図1 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 4 月分）は平成 22 年 5 月 11 日に発表する予定です。

※資料は気象庁のデータその他、国土交通省東北地方整備局、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ (標高)」を使用しています (承認番号 平 20 業使、第 385 号)。

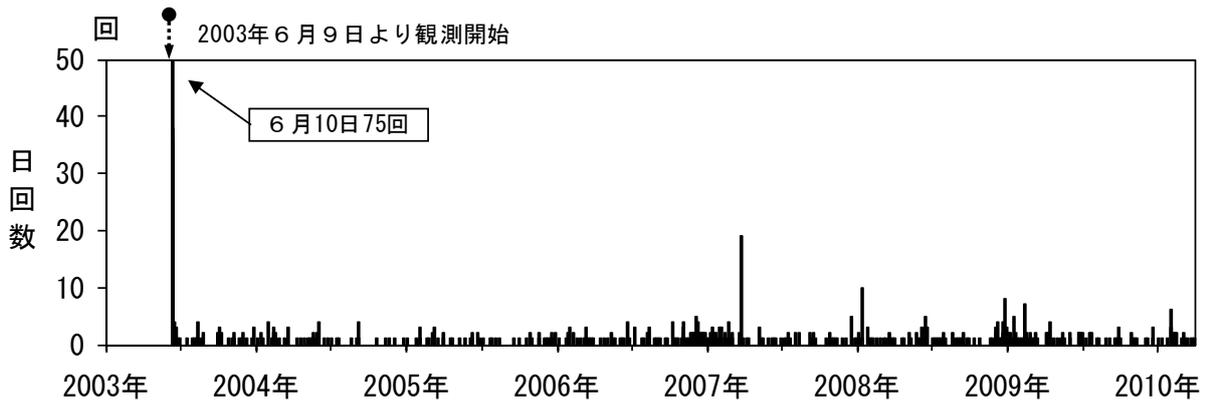


図2※ 秋田駒ヶ岳 日別地震回数（2003年6月～2010年3月）

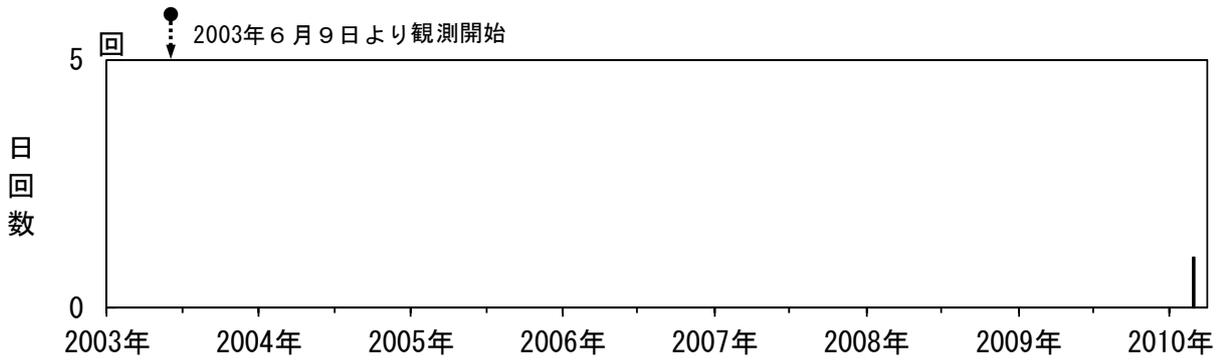


図3※ 秋田駒ヶ岳 日別微動回数（2003年6月～2010年3月）

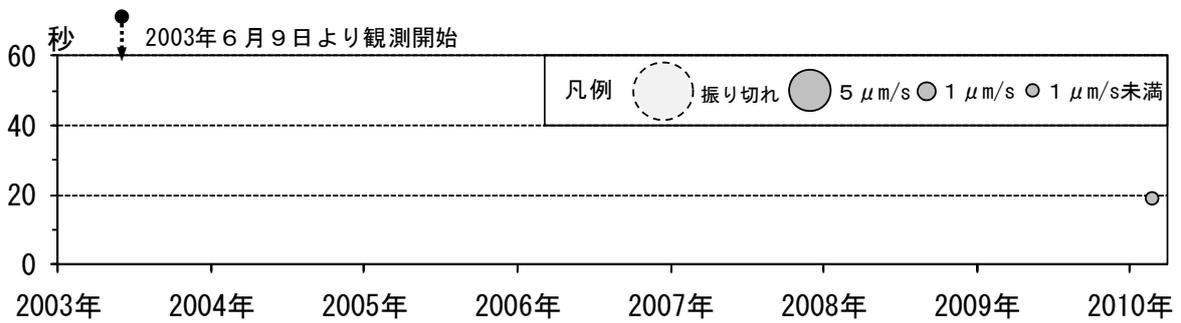


図4※ 秋田駒ヶ岳 微動の継続時間と最大振幅（2003年6月～2010年3月）